



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月13日

上場会社名 株式会社SIGグループ 上場取引所 東  
コード番号 4386 URL <https://www.sig-group.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川 純生  
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 八田 英伸 TEL 03-5213-4580  
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	5,111	31.3	235	11.5	234	△18.3	117	△42.7
2023年3月期第3四半期	3,893	8.5	211	△14.6	287	4.2	205	2.1

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 114百万円 (△44.3%) 2023年3月期第3四半期 205百万円 (1.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	20.80	20.67
2023年3月期第3四半期	36.37	36.13

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	4,167	1,948	46.8
2023年3月期	4,277	1,897	44.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 1,948百万円 2023年3月期 1,897百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	6.50	—	6.50	13.00
2024年3月期	—	7.00	—		
2024年3月期（予想）				7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,500	20.0	315	△18.6	360	△21.3	220	△27.1	38.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	5,931,540株	2023年3月期	5,929,980株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	274,210株	2023年3月期	284,710株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	5,651,450株	2023年3月期3Q	5,638,141株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

2024年3月期の連結業績につきましては、2023年5月12日付の「2023年3月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6
(重要な後発事象) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症が第5類へ移行したことにより、雇用・所得環境の改善とともに、緩やかな回復が続くことが期待されています。一方で、ロシアのウクライナ侵攻の長期化に伴う資源高の影響や中国経済の先行き懸念など、世界的な金融引き締めに伴う海外景気の下振れなどもあり、依然として不透明な状況が継続しております。

当社グループが属する情報サービス産業においては、企業のICT投資に対する投資意欲は引き続き底堅く、特に事業の強化や変革を推進するDX（デジタル・トランスフォーメーション）関連の需要が増加しており、今後も中長期的に市場規模の拡大が継続するものとみられております。

このような環境の中、当社グループのシステム開発及びインフラ・セキュリティサービス事業の各分野においては人材の確保が厳しい状況ではあるものの、新規受注の獲得が順調であった結果、売上高は好調に推移しました。

システム開発売上高は、公共系の政令都市向け人事給与システムの保守・改修などの既存案件の安定需要と第2四半期に新規受注した政令都市向け国保標準システム導入案件、サービス系既存案件の仮想移動体通信事業者向けシステム開発、DX請負案件の受注や、物流・その他サービス系既存ユーザのシステム開発の安定需要があり堅調に推移しました。また、前期末に連結子会社化した株式会社アクト・インフォメーション・サービスの売上高が当第3四半期連結累計期間の増収に寄与した結果、3,867,213千円（前年同期比33.8%増）となりました。

インフラ・セキュリティサービス売上高は、エネルギー系では開発・保守工程から上流工程へのシフトや当社では新領域となる設備管理パッケージへの進出、セキュリティ系では高付加価値案件への要員ローテーションや既存案件の単価アップ、サービス系ではAWSクラウド案件やシステム構築案件等により1,244,585千円（同24.1%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高5,111,799千円（前年同期比31.3%増）となりました。損益面では、案件の増加に伴う外注費等の原価上昇、コロナ禍における労働環境の改善のためのオフィス増床、レイアウト変更等の一時的費用の発生による販管費の増加等により営業利益235,299千円（同11.5%増）となりました。また、持分法による投資利益の減少により経常利益234,576千円（同18.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益117,566千円（同42.7%減）となりました。

なお、当社グループは、システム開発及びインフラ・セキュリティサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産の部

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は2,347,966千円であり、前連結会計年度末に比べ25,656千円減少しました。主な要因は、現金及び預金が200,932千円、仕掛品が16,797千円増加した一方、受取手形、売掛金及び契約資産が142,918千円、未収消費税が93,926千円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は1,819,755千円であり、前連結会計年度末に比べ84,021千円減少しました。主な要因は、のれんが56,511千円、関係会社株式が19,297千円減少したことによるものであります。

#### ② 負債の部

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は1,364,099千円であり、前連結会計年度末に比べ58,835千円減少しました。主な要因は、短期借入金が100,000千円増加した一方、買掛金が45,471千円、未払法人税等が66,012千円、賞与引当金が48,281千円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は855,042千円であり、前連結会計年度末に比べ101,620千円減少しました。主な要因は、退職給付に係る負債が17,458千円増加した一方、長期借入金が115,936千円減少したことによるものであります。

#### ③ 純資産の部

当第3四半期連結会計期間末の純資産は1,948,579千円であり、前連結会計年度末に比べ50,777千円増加しました。主な要因は、利益剰余金が47,421千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は46.8%（前連結会計年度末は44.4%）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日付の「2023年3月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,177,686	1,378,618
受取手形、売掛金及び契約資産	1,004,553	861,634
商品	2,561	2,558
仕掛品	557	17,354
その他	188,264	87,798
流動資産合計	2,373,622	2,347,966
固定資産		
有形固定資産	173,376	165,690
無形固定資産		
のれん	493,629	437,117
その他	76,441	88,389
無形固定資産合計	570,070	525,507
投資その他の資産		
関係会社株式	717,278	697,980
その他	453,051	440,577
貸倒引当金	△10,000	△10,000
投資その他の資産合計	1,160,329	1,128,558
固定資産合計	1,903,776	1,819,755
資産合計	4,277,399	4,167,721
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	234,524	189,052
短期借入金	310,000	410,000
1年内返済予定の長期借入金	168,712	154,684
未払法人税等	94,517	28,505
賞与引当金	141,887	93,606
リース債務	6,506	4,063
その他	466,785	484,187
流動負債合計	1,422,934	1,364,099
固定負債		
長期借入金	624,566	508,630
退職給付に係る負債	252,866	270,325
リース債務	8,181	5,094
その他	71,048	70,993
固定負債合計	956,663	855,042
負債合計	2,379,597	2,219,141
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	507,783	507,866
資本剰余金	368,736	368,820
利益剰余金	1,195,583	1,243,004
自己株式	△174,700	△168,253
株主資本合計	1,897,402	1,951,438
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	399	△2,858
その他の包括利益累計額合計	399	△2,858
純資産合計	1,897,801	1,948,579
負債純資産合計	4,277,399	4,167,721

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	3,893,813	5,111,799
売上原価	3,006,926	4,044,163
売上総利益	886,887	1,067,635
販売費及び一般管理費	675,779	832,335
営業利益	211,107	235,299
営業外収益		
受取利息及び配当金	31	8
持分法による投資利益	74,810	2,246
助成金収入	4,017	3,206
その他	2,111	1,754
営業外収益合計	80,971	7,216
営業外費用		
支払利息	3,138	6,081
支払手数料	1,739	1,736
その他	164	121
営業外費用合計	5,042	7,939
経常利益	287,036	234,576
税金等調整前四半期純利益	287,036	234,576
法人税、住民税及び事業税	41,217	94,589
法人税等調整額	40,767	22,419
法人税等合計	81,985	117,009
四半期純利益	205,051	117,566
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	205,051	117,566

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	205,051	117,566
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	113	△3,257
その他の包括利益合計	113	△3,257
四半期包括利益	205,165	114,309
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	205,165	114,309
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

当社グループは、システム開発及びインフラ・セキュリティサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

当社グループは、システム開発及びインフラ・セキュリティサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。